

8	(地独) 東京都健康長寿医療センター	地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 年度計画の実施 (令和5年度)
事業概要	令和5年度から令和9年度までの5年間を計画期間とする中期計画を達成するため、令和5年度において取り組むべき事項を年度計画として定め、高齢者のための高度専門医療及び研究の充実・発展並びに経営基盤の改善について着実に実施する。	
これまでの経過	平成21年4月：地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターを設置し、業務運営を開始 令和5年 3月：地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター第四期中期計画認可決定 ：令和5年度計画を都へ提出 令和5年 6月：第三期中期目標期間（平成30年度～令和4年度）業務実績等報告書、令和4年度財務諸表及び業務実績等報告書を都へ提出 令和6年 3月：令和6年度計画を都へ提出	
現在の進行状況	【センター全体】 令和5年10月～令和6年3月：新型コロナウイルス感染症への対策として、陽性患者の受入、職員へのワクチン接種、都が運営する臨時医療施設と連携した転院搬送体制の構築等を実施 令和6年3月：紹介患者に対する医療提供、救急医療等によるかかりつけ医への支援の実績により、「地域医療支援病院」に承認 【病院部門】 令和5年4月～令和6年3月：平均在院日数 12.5 日、病床稼働率 71.7%で推移 (前年度実績：平均在院日数 12.0 日、病床稼働率 70.9%) 【研究部門】 令和5年10月：「フレイルであっても、働くことは身体機能を維持し要介護リスクを低減することが明らかに」をプレス発表 令和5年11月：「◆フレイル予防・改善に向けて◆スマートフォンアプリ「バランス日記～10食品群チェック～」を用いた研究の中間結果を発表」をプレス発表 令和5年12月：「認知機能低下が死亡リスクをどう高めるかは孤立の種類次第：“独居”と“希薄なつながり”は正反対の作用を持つ」をプレス発表 令和6年3月：「悪玉因子、活性酸素が記憶形成に必要であることを解明—抗酸化物質の過剰摂取に警鐘—」をプレス発表 その他 10 件をプレス発表	
今後の見通し	高齢者のための高度専門医療及び研究を行い、都における高齢者医療並びに研究拠点としての役割を引き続き果たしていく。また、病院部門、研究部門、経営部門の連携を一層強め、特に病院・研究所の部門を横断するセンターの体制整備により、令和5年度から始まった第四期中期計画及び年度計画に基づき、着実に事業を実施する。 病院部門では職種の枠を超えたチーム医療の推進、医療連携の一層の強化に努め、「地域医療支援病院」として地域全体で継続的な一貫性のある医療を目指すとともに、新興・再興感染症への感染症対策や大規模災害等に対する災害医療の取組を強化する。 研究部門は高齢者の健康維持や老化・老年学の予防法・診断法の開発等に関して、老化のメカニズムや老化制御等の基礎的研究を実施するとともに、高齢者の健康長寿と福祉に関して、疫学研究や社会調査等による社会科学研究を実施する。 また、「認知未来社会創造センター」における関連団体と提携した研究の進展、AI 活用の画像診断、「フレイル予防センター」における関連団体と連携したフレイルサポート医、フレイルサポート栄養士、フレイルサポート看護師の育成、スマートウォッチ等デジタル機器活用事業における健康増進アプリケーションの開発などを進めていく。	
問合せ先	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 経営企画局 事務部 経営企画課	電話 03(3964)1141